



惜しい！シュートは外れる
全国大会で健闘のサッカー部

サッカー部全国大会に出場！

無念あと五分、長崎代表に惜敗

上田高校サッカー部が、県下八八校参加の予選を勝ち抜き、全国大会に出場した。実に21年ぶり二度目の快挙である。一月二日川崎等々力競技場で行われた一回戦で、長崎代表加治木工高と対戦。一対二で惜敗した。

(社) 上田高等学校同窓会

平成元年度 会員大会(総会)ご案内

★期日 7月9日(日)

- 母校「松尾祭」自由参観
- 総会及び懇親会

会場 上田商工会場所5階ホール
時間 午後4時より通常総会
ひきつづき懇親パーティー

(学校より会場まで徒歩2分。懇親会費 2,000円)

更に力強い前進を

同窓会理事長 金子 八郎

同窓会の運営につきまして、物心両面にわたる深いご理解とご支援を賜っておりますことを厚く御礼申し上げます。お蔭様で諸行事もスムーズに進行し、今年もまた当番幹事の方々が、工夫を凝らして企画された会員総会が、本紙でご案内の通り開催されます。多くのご参加を頂き、いやが上にも上田高校同窓会の意気を盛り上げたいと切望しておりますので、よろしくお願ひします。

皆様のご協力で一昨年建設した雨天練習場は、野球をはじめ各種運動クラブの活躍に大きく貢献しております。近く第二体育館も改築される由ですが、由緒ある景観にマッチした二十一世紀に相応しい立派な建物が完成されることを祈っております。激しい時代の変化に加え、中学卒業生数が著しく変動し、学校当局もさまざまな面で苦心を

「平成」を迎えて

学校長 山城 昭

平成元年度の入学式は、四月四日に行われ、全日制十学級四五〇名、定時制一学級二六名が入学いたしました。本年度は、在校生全日制一三六二名 男子八四一、女子五二一、定時制八三名(男子四五、女子三八)教職員は九五名(非常勤講師、AET、T外国人の英語教師助手を含む)で出発いたしました。

四月末、柳沢文秋前理事長がお孫さんが入学したことをご挨拶で来校され、「父が明治、私が大正、子が昭和、孫が平成の入学」という珍しいことになりました。とのことでした。本校も四代目の時代を迎えたのだな、という感慨を深くしました。

過日、二十六期の長尾秀治さんが、手作り文集「この素晴らしき仲間たち(六十年記念誌)」を持参され、寄贈いただきました。寄せられた原稿を複写して整本された、あたたかさが伝わる文集でした。

しておられますが、文武両道の伝統を尊重し、母校がいよいよ充実発展することを願うと共に、皆様の変わらぬ暖かいご支援を重ねてお願いいたします。

同窓会も更に力強い前進を続けたいと念願しておりますので、ドシドシ、ご意見をお寄せ頂き、ご指導下さいますようお願いして、ご挨拶とします。

古城の門

『日本経済新聞』の交遊抄。「文芸春秋」の同級生交歓。それらをしみじみと読めるのは、因縁めいた出会いに興味を湧くのと、お互いが育てた友情の確かさに共感を覚えるからだろう。▼小、中、高、大、それぞれに友達はいても、親密で、つき合いに永続性があるのは、なんといいっても高校時代の友人である。多感な年ごろの共通体験が、とりわけ仲間意識をかきたてるからだろうか。旧い学び舎の素朴なたたずまいと共に、さまざまなシーンが蘇ったりする▼奇妙にウマが合って、生涯つき合いのつづきそうな友。交流はとぎれていても、不思議と心に残る友。いずれも人生を彩る貴重な存在である。(龍)



紙面案内

- 2 真 員大会・決算子算報告
- 3 頁 紹 介 支 部 報 告
- 4 面 伝 統 の ク ラ ブ 活 動 紹 介
- 5 面 特 別 寄 稿 ・ 母 校 へ 寄 贈 品
- 6 面 便 り
- 7 面 事 務 局
- 8 面

“世代を超えた交歓の夕”

第二回 会員大会盛大に開催

新機構になってから一回目の会員大会が、昭和六十二年八月二十七日、午後四時から、上田商工会議所五階ホールで行われた。今回は48期・53期・58期・63期の各理事、代議員が当番にあたり、関勇悟氏(48期)が実行委員長をつとめた。当日参加者は三百名弱(パーティー券売り上げ二七枚)の多きを数え、盛会であつた。

大会は、金子理事長の挨拶に始まり、山城学校長の挨拶及び学校の近況報告、各報告、協議の後、来賓としてお招きした小林郷司関東同窓会会長のご祝辞をいただいた。柳沢文秋前理事

平成元年度代議員会

第三回代議員会は、五月二十日「ささや」で開催された。(出席者百十六名、委任状百二十八名)
(一)、昭和六十三年度事業報告・決算の件。(二)、平成元年度事業計画・予算の件。(三)、会員大会の

長(27期)のご発声による乾杯の後には、和気あいあい、当同窓会始まって以来と思われる女性同窓生七人の校歌も飛び出すなど、大盛会に終始した。交歓の大きな輪ができた。



長野県上田高等学校 関東同窓会 第27回総会

実行委員名簿

きたる七月九日開催の第三回会員大会の実行委員会のメンバーは左記の通り。

49期	山極勝太・青島二郎
48期	高橋忠正・中村周
47期	宮原毅・柳原彰二
46期	川上育男
54期	佐藤圭司・甘利隆弘
53期	岡崎光雄・海瀬秀夫
52期	近藤正司・富山剛
51期	荻野幹夫・荒井純平
50期	石坂忠昭・村居正雄
49期	柳沢章雄・山田豊
48期	大久保仁兵衛・金沢崇文
47期	関哲夫・滝沢章
46期	増田幸一
45期	市川泉・齊藤弘幸
44期	高田忍・竹原基好
43期	松尾睦夫



(社) 上田高等学校同窓会
昭和63年度 決算書
平成元年度 予算書

◎収入の部

(単位:円)

科目	63年度決算額	平成元年度予算額
1. 新入生入会金	2,886,000	2,844,000
2. 維持会費(同窓生拠出金)	5,071,300	5,000,000
3. 会館維持負担金	570,000	400,000
4. 会報広告収入	350,000	350,000
5. 利子及び配当金	66,952	65,000
6. 雑収入	1,079,263	750,000
7. 前年度繰越金	799,886	1,776,663
合計	10,823,401	11,185,663

◎支出の部

科目	63年度決算額	平成元年度予算額
1. 管理費	7,609,088	8,639,300
①給料手当	3,267,000	3,384,300
②旅費交通費	23,640	50,000
③総会費	806,345	1,000,000
④会議費	198,740	400,000
⑤渉外費	110,000	150,000
⑥備品費	289,120	100,000
⑦消耗品費	145,601	150,000
⑧修理費	65,500	100,000
⑨通信費	1,613,290	1,800,000
⑩印刷費	295,600	350,000
⑪光熱水費	578,087	600,000
⑫退職積立金	50,000	50,000
⑬保険料	4,220	5,000
⑭雑費	161,945	500,000
2. 事業費	1,437,650	1,608,500
①同窓会報発行費	376,870	500,000
②奨学金積立	0	100
③転退職員記念品代	84,000	50,000
④生徒学習指導助成費	719,600	708,400
⑤生徒入学卒業記念品	214,180	250,000
⑥卒業生住所録助成費	43,000	50,000
⑦雑費	0	50,000
3. 予備費	0	937,863
4. 繰越金	1,776,663	0
合計	10,823,401	11,185,663

監査報告 山寺豊一(31)・荻野幹夫(59)・島田甲子雄(65)

34期会 益々元気です

幹事	幹事	幹事	幹事	幹事	副会長	会長
林	中島	母袋	布施	渡辺	半田	村上
甲子三	大六	義平	祐一	喜作	孝淳	和夫

(昭和十年三月卒業)

魅惑の民族“中国の姿”

共同通信社 中島 宏 (51期)



(三回)の七年半ということになる。

香港では文革華やかなころの中国大陸を外からウオッチした。英国資本が引き揚げるのに米資本が香港に入ってくるのを見て、米中接近を予感した。一九七一年、中国が名古屋で始めたピンポン外交(米国卓球チームの訪中招待)は私のスクープになったが、香港時代のカンがなければ見過ごしていたことだろう。北京はまず七〇年に半年滞在して、天安門集会で毛沢東、林彪を望見したりなどした。七十二

年からの二回目は、ニクソン訪中。田中首相が訪中しての日中国交正常化を取材した。晩年の周恩来が活躍したところで、日本人と次々に会見したので、我々も顔を合わせる機会が多かった。八〇年からの滞在中には、華国鋒が失脚し、鄧小平らが登場してくる。人民公社が解体され、自由市場やいろいろな商売が奨励されるなど、すべてが様変わりし始めた時で、仕事も面白かった。三回合わせて、中国大陸の二十九の省・市・自治区のすべてに足を運んだ。

中国の仕事ではスクープをいくつもしたが、見通しを誤ったことも少なくない。情報不足もあるが、自分の分析の不徹底が原因だった。他の国についてもそうだが、遠くから見ても中国人の良さはわからない。中国は今、何とか混乱が目立っし、今後もしらに乱れるかもしれない。しかし彼らの長年の知恵が何とか処理して行くのではないかと。隣国の日本としてもできるだけの協力をすべきだと思う。留学生であれ、一般の訪問者であれ、中国人とのつき合いをおすすめしたい。日本人と物の考え方、習慣も違うので問題も起きるが、大変味わいのある民族である。(筆者は共同通信社編集委員室次長兼論説委員)

北海道支部新役員

宮坂前支部長ご逝去のあと、新支部長に清水進氏35期(歯科医・下塩尻出身)、副支部長に平尾三郎氏51期(札幌大教授・踏入出身)がそれぞれ就任された。

I BM社にOB会

日本アイ・ビー・エム(株)に上田高校OBが二五名程おり、この程OB会を結成し、アイウエオ会(アイ・ビー・エム・ウ・エダ・オービー)と命名した。幹事は57期の高山三千夫氏。

関東同窓会報告

会長 小林郷司(40期)

若葉の皐月も半ば過ぎて、関東同窓会では、会報四十一号の編輯を終え、発送を完了致しました。(現在会員数は六千名)今年は六月十五日、如水会館で開催予定の第二八回関東同窓会総会を目前に控え、その準備に忙殺されている日々です。

同窓会はなるべく多くの同窓生の参加を得て組織的な運営を毎日でした。

したいというのが、古城の門をくぐった絆を尊重する私の理念であり、之に添って役員を増員し五つの委員会を新設しました。

あから早二年、私の杞憂は結果的に一掃された。それは一昨年の野球部の甲子園出場であり、また今春の蹴球部の全国大会出場です。その都度、関東同窓会が応援に募金に青春を呼び戻して大活躍したことは既に告知の通りですが、反面、これにより新鮮な活力が注入され、会の礎がいかに強固になったことか。また蔭にあつてそれぞれ業務の寸暇をさいて献身的に会務に奉仕して下さいた役員、委員、幹事、同窓生の情熱に對しては、ただ感謝と敬意を捧げるのみです。

最後に最近の上田本部の活性化された会務の運営は目をみはるばかりです。特に幹事を中心、各期の結束は年毎に強固になり素晴らしいものです。

これも名理事長である金子八郎先輩をはじめ、理事・代議員・会員の皆様の母校愛の結晶と申します。

受章者ご芳名

- ★昭和63年 秋叙勲
坂本勝三氏(32期) 勲四等瑞宝章
岩下忠美氏(34期) 勲四等瑞宝章
松井正直氏(34期) 勲二等瑞宝章
西沢佐内氏(35期) 勲四等瑞宝章
- ★平成元年 春叙勲
坂口育三氏(31期) 勲三等旭日章
山極真平氏(32期) 勲五等双光旭日章
滝沢正氏(35期) 勲三等旭日章
浜村謙一郎氏(35期) 勲五等双光旭日章
香掛信敏氏(42期) 藍綬褒章
久保忠夫氏(44-4) 黄綬褒章

39期(昭和15年3月卒)青々会36回総会 戸隠高原で開催

(於 戸隠高原 辻旅館 平成元年5月13~14日)

30名出席、盛会でした。来年は卒業50周年記念事業を行います。全員ご出席を乞う。

総会出席者は次の通りです。(順不同)

西沢弥八	土肥国夫	保屋野哲男	関川一郎	淡沢芳三
小林陸男	清水輝夫	依田利久	鈴木君人	沢詰橋
小金子八郎	塩入良道	丸山保広	林西守	橋高唯
萩原秀治	伊藤信平	佐藤正来	大田中	大牧内
小池清喜	桜井幸男	矢嶋高	田長	塩野崎
高木信男	田中純一郎	滝沢晴雄	藤勝	

先輩、頑張っています！ 伝統のクラブ活動紹介

“全国の壁は厚かった”

—その大会への道程— サッカー班

今年一月に行われた第六十二回全国高等学校サッカー選手権大会に出場した際にはサッカーのOB会員を中心とし、同窓会の皆様よりのご支援、ご声援ありがとうございました。

さて今回の選手権大会、東信地区では優勝、十月二十二、二十三日の県大会。チームの主体（三年生は一名）の二年生は前日の二十一日に関西よりの修学旅行から帰って来たばかりで全員疲労困憊はいいとして、「これは一回戦最後まで無事戦えれば……」。そんな思いをさせられましたが、生徒達はよく頑張り、一回戦須坂東高校を1対0で破り、続いて松本筑摩高校を2対0で降しました。

回転・大回転で全国大会へ

—スキー班—

平成元年二月九日から十三日まで青森県大鰐町で第三十八回全国高校体育大会スキー競技会が開催され、本校からは二年生

の中沢博君が回転・大回転競技で県内のスキーどころの中信・北信の強豪に伍しむこと県予選を突破し参加いたしました。

本県のスキー競技は北海道と肩を並べる全国でもトップレベルにあり県予選を勝ち抜くのは並大抵ではありません。

大回転競技では全国百数十名の中沢博君が回転・大回転競技で県内のスキーどころの中信・北信の強豪に伍しむこと県予選を突破し参加いたしました。

現在、班員達は引き続きのご支援の賜物と存じます。

部長 工藤恒良(49期)

躍進する陸上競技班

先輩方の培った伝統ある陸上競技班を一步でも向上させようと、班員四十名が市営陸上競技場で練習に励んでいます。

男子においては、県では総体新人大会を合わせて、県内最大の十一回という総合優勝を成し遂げ、また全国大会には大勢の選手を送り込むという伝統を持ち、現在までに本校陸上競技班の輩出した先輩方は三百余名にのぼります。

昨年、県高校駅伝で、一区の貯金を後続の一、二年生がよくつなぎ三位を確保

厚かった”です。試合の経緯は省略して、全国大会出場までの経過をご報告致します。

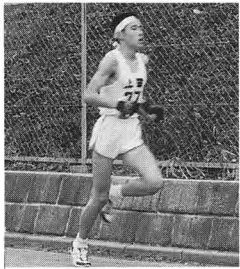
六十三年五月に行われた高校総体東信予選は優勝、県大会の決勝は松本県ヶ丘高校と対戦、3対0で敗れ準優勝に終わる。六月、新潟県十日町市での第二十四回北信越大会に出場、富山県代表水橋高校と対戦、2対1で勝ちベスト8に。

平成元年二月九日から十三日まで青森県大鰐町で第三十八回全国高校体育大会スキー競技会が開催され、本校からは二年生

の中沢博君が回転・大回転競技で県内のスキーどころの中信・北信の強豪に伍しむこと県予選を突破し参加いたしました。

現在、班員達は引き続きのご支援の賜物と存じます。

部長 工藤恒良(49期)



北信越大会（富山県黒部市）に県代表として参加し健闘した。光る汗、輝く瞳、いま青春のエネルギーが、神戸インターハイに中村守君が千五百メートルに出場。期待されたが、惜しくも決勝進出にあと一步だった。その雪辱を京都国体では身の上のスピードが生きたレースであり、伝統ある陸上競技班の歴史にページを残してくれた。



陸文会のご援助、同窓会の方々の暖かいご声援を、班員一同いつも感謝申し上げます。（顧問細田紀一）

延長戦に。そして耐え抜いた勝負への執念は、延長戦でのシュート数県ヶ丘0に対し、本校は十本という数字にも表れ、ついに決勝点をもぎ取ったのです。

ここに至れたのも、OBの遠山さん(39期)、和田さん(66期)を始めOB皆さんの指導、小野沢監督(50期)の豊富な経験による指導、それによく応えた生徒達の精進と、加えて父兄、同窓会員の皆さんの熱意溢れるご支援の賜物と存じます。

現在、班員達は引き続きのご支援の賜物と存じます。

44-4期（昭和20年3月）卒業生の皆様へ！

八日会(同期の有志による会です)は毎月竹内敬太郎先生ご出席にて下記のとおり開かれております。お気軽にお出掛け下さい。

日時 毎月8日午後6時30分
場所 上田市本町「まんぷく」

(メンバー)
潤次 浄彦 尚任 夫吾 亘吉
今朝 芳佳 一完 正善 二
荒池 色小 瀬田 田千 中山 横

美と健康のアクセサリー
(株)こだま

代表取締役 児玉 志郎(44-4期)

東京都台東区東上野一四一
ヨコカワビル4F
電話 〇三—八三七—八八八六

第一宅地建物

代表 佐藤専太郎(44-4期)

事務所 上田市大手一八—十四
(八十二銀行上田支店横)
電話 (三六)二五—〇一五—番

将棋個人戦で全国優勝！

― 囲碁将棋班 ―

昨年度の全国高校将棋選手権大会で、本校一年生の丸山玄則は、個人戦で全国優勝をなし遂げました。本校の九十年の歴史をひもといても、全国大会での優勝は、大正八年の陸上八百メートル以来という快挙です。

全国高校囲碁選手権大会には女子団体と女子個人（清水庸）が出場し、共に一勝しましたが二回戦で惜敗しました。この大会は昨年で十二回目ですが、大会資料によると、全国大会出場回数は上田高校（男女延べ二十

63年度（主な）
クラブの戦績

- 硬式庭球班 新人戦県大会団体男子二位
- 軟式庭球班 新人戦県大会団体男子三位、北信越大会出場
- ハンドボール班 新人戦県大会三位、北信越大会出場
- 硬式野球班 夏選手権予選準決勝 北信越大会（二回戦）
- 柔道班 新人戦県大会個人三位、北信越大会個人戦出場
- 剣道班 新人戦県大会団体男子一位、女子ベスト8、北信越大会出場
- 水泳班 北信越大会優勝

二回）は全国第三位です。

大会出場者の中に、囲碁も将棋も小中学生の時から身につけたものが急増し、その実力も年々向上の傾向にあります。幼時に将棋を覚えて高校入学時にはすでに抜群の力を持っていた丸山君が全国優勝を果たしたことは、そのよい例です。囲碁の場合、小中学校の大会では出場者数が年々増加していますが、残念ながら東信のみは全く出場者がありません。数年前までは全国大会で上位入賞を果していた本校の囲碁が、最近目立った活躍がでないのは、こうした地盤に

も一因があるのではないでしょう。上田高校囲碁将棋班の特徴は『一に学業、二にクラブ』の方針をあくまで貫いているところにあります。練習は熱意にあふれていますが、水曜日と日曜日は学業に全力を注ぐため練習は休み、長期休業も学業と家庭生活を優先させています。人生にも進路にもプラスになるクラブ活動こそ、わがクラブのモットーです。

クラリネット八重奏

― 吹奏楽班 ―

二月十二日、四日市で行われた第15回東海アンサンブルコンテストに、校内選考会、東信大会、県大会を経て、私達クラリネット八重奏は出場することが出来ました。

アンサンブルは、コンクールのように大勢で演奏するものと違って、2人から8人までの人数で、チームが編成され、私達クラリネット八重奏は、二年生7人、一年生1人のメンバー

OB会通信

柔道班 東京柔和会、6月2

日京橋会館で開催（会長坂田隆雄、幹事長小林郷司）6月下旬柔和会総会開催予定（会長横関辰雄、幹事長山寺豊一）（事務局）秋和問屋町四九五の三〇（榊石商店内石田守方）

陸上部 陸文会と称し、会長

折井正彦、副会長矢沢武、佐藤圭司、東京陸文会会長矢島五郎、副会長滝沢正、現在会員約三百五十人。主な事業は約40人の現役生徒の大会遠征費補助活動。昨年は団体二〇〇SCで4位入賞。（事務局）上田高校内。

野球部 今年度事業計画。募金活動（6・7月）、ゴルフコンペ（10月）、納会（11月）、総会（12月）。

したが、この時ばかりは今後の

苦労も忘れるほどの感動でした。先生方や他の団員の協力、そして私達の努力によって得ることが出来た結果だと思いました。

東海大会では、惜しくも銀賞という結果に終わり、全国大会出場はなりませんでしたが、私達にとっては最高の思い出が出来ました。東海大会へ出場出来たことを誇りに思い、これからも吹奏楽団の一員として、がんばりたいと思います。（パトリーター 小山千栄美）



合同新年会（1月）、新OBを迎える会（3月）、練習試合の後援・幹事会の開催。事務局（代表）上田市大字上野五三九一四、片山久男 Tel 二四一三三九七

サッカークラブ部 5月27日OB会総会。翌28日親善試合。1月2日親善試合（事務局）秋和四九三 高野外科医院 高野利一郎（東京事務局）東京工業大学保健体育課一四五 丸山剛生

バスケットボール部 総会、64・1・2、同窓会館、65名参加。新入OB歓迎会、1・3・19、同窓会館、40名参加。第11回長野県4校対抗OB戦（長野・深志・清陵・上田）1・3・21、代々木二休、優勝。関東支部総会、1・7月予定。第12回長野県4校対抗OB戦、2・3・21、代々木二休。（事務局）卸団地244の1田辺商事気付。

上田高校49期会

代表幹事 山極勝夫・中村 周
事務局 右に同じ

5年に一度の同年大会を開催。次回は平成3年（卒業40周年）今年と同窓会総会実行委員当番期に当り頑張っています。

松尾二十日会

会長 工藤恭久 副会長 増島芳美
事務局 上田市住吉125-1 (株)真田内

東北信に住む49期生有志で結成し、会員70名を擁して49期会の中核体となっている。毎奇数月の20日上田駅前若菜館を定席に例会を行い、母校後輩の全国大会出場の応援及び囲碁、旅行、ゴルフ等の懇親事業を行っている。会員でない同期の諸君、奇数月の20日pm 6時半若菜館に來たれ!!

本格的に再開発の始動

― 壮大な信州プロジェクト ―



長野県総務部長 竹下悦男(52期)

ふるさと長野県は、今いくつ

かの大規模プロジェクトに取り組んでいる。高速自動車道、新幹線、松本空港のジェット化、一九九八年をめざす冬期オリンピック招致、県民文化会館松本版の建設、子供病院の建設などのほか、産業的にはテクノハイランド信州構想(この一つに浅間テクノポリス計画がある。)の展開や、また、リゾート構想の推進などがある。これらもあつ

て慢性的に人手不足と言おうか人材不足に悩み続けている。今や県下の平均有効求人倍率も二倍を超えているので今年からはIターン運動(愛する信州へ帰る。私信州へ行くの意)も展開し、信州出身者はばかりでなく、信州を愛する他県出身者の転入を期待している。現在県人口は二百十五万余で、かつてなかつた規模となっているがライフ・スタイルの変化、スポーツ、文化活動の日常化に向け信州は今、

大変な地の利を得つつある。前段の大規模プロジェクトは、これらをますます可能なものとする必須である。しかしこれからは単なる量的拡大であつてはならない。いかにして信州を文化的にも、産業的にも質の高いものとするかである。私も、少しオーバーであるが、信州はこれから、世界の中枢都市東京の奥座敷として個性化し、特化することであるとロマンをかかげている。

産業構造はかなり第二次産業が高く、かつての西独Z型という電気・精密・機械・輸送といった知識集約的で、かつ加工組立型産業の日本の基地となつて

に、かつ厚さをもつて形成して行くには、文科・理科にも通じたロマンある大人物(人材)を必要としている。その芽は、母校上田高校の毎日のなかに胎動しているのではなからうか。大いに期待したい。

同窓生諸氏ふるさと活性化にご協力を。

「凱歌」の作者

…夕陽千曲の水の面に… 上田高校のシンボル、同窓生の“心の歌”である凱歌は、吉村武生氏(21期)が上田中学四年在学16歳の時の作。20期の田村民治選手が陸上800米で全国優勝の快挙を遂げ、その凱旋を駅頭で迎える祝歌として二日間で作詩された。このたび51期生が母校の中庭に歌碑を建立したのを機会に、長女的美弥子さん(40期渡辺卓郎氏夫人)が近親者による“父の想い出文集”を小冊子にまとめて同窓会に寄贈された。

上田中学始まって以来の秀才と言われ、松高に進んで寮歌“ああ青春”を作詩し、東大法科を出て日本銀行に勤務。駐英・駐北京などの多彩な経歴の後、病を得て昭和26年、疎開先の上塩尻で47歳で夭折された。英才先輩のその数奇な生涯は読者の胸を深く打つものがある。

計報

前副理事長 鈴木俊氏(27期)

63年1月23日逝去された。30

年に理事に就任、34年より二十四年の長きに亘り副理事長を務められ、58年より顧問に推戴され、同窓会活動に多大の功績を残された。

元校長 小林俊直先生

63年8月4日逝去された。野

沢北中・広島高師卒。27年より

七年間上田高校社会科教諭を務め、42年上田高校第十四代の校長に就任されて四年間在任、そのあと上田城南高校の校長を一年間つとめられ、教育界の重鎮であられた。

元教頭 小田切光威先生

平成元年3月9日逝去された。

先生は47年より四年間上田高校教頭として在任され、諏訪清陵高校校長を最後に教育界をこ勇退された。

意欲的な取組み

57期卒業 30周年記念事業

昭和34年卒の第57期生は本年三十周年を迎える。去る62年9月に上山田温泉笹屋ホテルに於て第一回の同期会を開催し、三十年の節目を祝つて一口五千元で一人二口以上の募金を意欲的に行い、母校に記念品を贈ることを決め、本年第二回総会を東

母校へ寄贈品

最近 1年

第37期 「卒業50周年記念」

◎校内植樹 金額50万円

定時制棟と格技棟の間に“しなの木”5本
格技棟南庭に“アカシデの木”5本

第56期 「卒業30周年記念」

◎図書寄贈(キハラ書架共) 金額200万円

筑摩世界文学大系全89巻・世界の名著81巻・中国古典文学大系60巻・大系世界の美術20巻・新世界大百科事典35巻・他

第62期 「卒業25周年記念」

◎額「造形作品」(タテ120㎝・ヨコ545㎝)

作者…62期卒 竹内 潔氏

作品名…作品86-10

掲掲場所…校内食堂壁面

頑張っています!

ゴ シ キ カイ
五 四 期 会

今年度の総会は当期が当番です。

多数御参加下さい。

ふるさと便り

盛り沢山の記念行事

華やかに「上田市誕生七十周年祭」

上田市は、大正8年に誕生し、今年で70周年を迎えた。これを記念し、各種の記念事業が盛り沢山に予定されている。

70周年というのは大きな節目であり、市当局のみならず、各種市民団体からの協力も得ながら成功に向け活動中である。

この4月には、70周年記念事業のオープニングセレモニーが恒例の真田まつり武者行列にあわせて華々しく挙行された。当日は、鎌倉市・上田市・出石町の各姉妹都市から首長やミスが花を添えた。また、大阪の堺鉄砲

隊の協力により、祝砲が上田城に轟いた。

今後の大きな予定は、アートルード（市役所・商工会議所）整備や室内プール建設などがある。また、7月には、NHK関東甲信越小さな旅に上田市が取り上げられる。そして、11月19日には、ふるさとの文化祭（NHK全国放送番組）のための新しい大型イベントが実施される。現在、真田ものを中心とした全く新しいイベントが計画中である。ご期待下さい。

真田一族ロマンの里づくり

夢ふくらむ
日本庭園風
歴史の散歩道

不思議な形と大きさの石群が上田公園前の公園通りに現われた。これは、まちづくり特別対策事業（自治省のモデル事業）の真田一族ロマンの里づくりの一環としてすめられている歴史散歩道である。日本庭園風の歩道には、真田十勇士の顔が画かれていたり、ベンチにもなる石が置かれ、訪れた人たちを楽しませ驚かせている。

歴史散歩道は、公園通りから既設の二中前の歩道を通り、市役所、上田高校、車坂、JR上田駅に続く、潤いとやすらぎを与えてくれる憩いの道である。市役所横は、既にガス灯のある歩道に整備され、明治大正ロマンを彷彿とさせてくれる。上田高校の堀沿いは、竹垣と石畳で整備された。そして、堀の土手には、名物のツツジがみごとに咲き誇り、白壁を背景に美しい姿を楽しませてくれる。夜には、ライトアップが数カ所

で施され、ツツジ、白壁、カワラ、そして木々の緑が、幻想的に照らし出されている。戦国ロマンを身体で感じ、そして、松尾ヶ丘の青春を思い出しながら、あなたもこの歴史散歩道を歩いてみませんか。

全国初の十二選首長
青木村長宮原吉氏（30期）は上田中学卒業後早大を出、昭和22年35才で青木村長に初当選以来、今年四月遂に全国初の十二選首長の栄に輝いた。



〈写真〉市制70周年記念行事に出場した鎌倉の流鏑馬。人馬一体の迫力に市民も感嘆。

一環としてすめられている歴史散歩道である。日本庭園風の歩道には、真田十勇士の顔が画かれていたり、ベンチにもなる石が置かれ、訪れた人たちを楽しませ驚かせている。



五:千曲川
六:中央道長野線
三:信越線
四:国道18号
二:北陸新幹線
一:上信越道

59期会

(昭和36年3月卒業)

卒業30周年を2年後に迎えるに当り、昭和63年7月に記念事業実行委員会役員が選出されましたので、ご案内致しますとともに今後のご協力をお願い申し上げます。

卒業30周年記念事業実行委員会役員

会長 (7組) 柳沢 章雄
同窓会理事 (4組) 荻野 幹夫
同窓会代議員 (2組) 荒井 純平
" (3組) 村居 正雄
" (4組) 石坂 忠昭
" (6組) 山田 豊

事務局 TEL 0268-23-9102 (松本)

クラス幹事 (1組) ◎酒井 優吉 甲田 秀彰 水出 秀雄	(5組) ◎佐藤幸四郎 丸山喜三郎 宮下 信義
(2組) ◎関 啓治 沓掛信太郎 滝沢 昇	(6組) ◎滝沢 久代 滝沢みつ 峰村 英夫
(3組) ◎戸田 俊夫 浦野 健司 簾田 克彦	(7組) ◎松本 圭藏 関 義次 村山 顕
(4組) ◎南沢 修夫 金井 彰 菊池 徹	(8組) ◎小田中一彦 黒沢 正憲 甲田 英彰



＝母校正門前も歴史の佇まい＝ 緑滴る中に竹垣とつつじの紅が映える。(36期寄贈のつつじ)

同窓会取扱図書のご案内

お申し込みは同封郵便振替用紙で。(送料共)

1. 上田高等学校史「草創編」 ￥1,500
(明治8年～明治32年・倉沢 剛著)
2. 上田高等学校史「中学前編」 ￥3,000
(明治33年～大正15年・柳沢文秋著)
3. 上田高等学校史「中学後編」 ￥3,000
(昭和2年～昭和22年・校史編纂会編)
セット価格 1. 2. 3. の三冊一組 ￥6,500
2. 3. の二冊一組 ￥5,000
4. 高校風土記「上田高校ものがたり」 ￥1,800
(毎日新聞 102回連載・林邦雄記者著)
5. 上田高校柔代会史(柔代会編) ￥5,000
6. 旧校舎写真集「古城の門」(42期森澄夫作) ￥3,000
7. 「小林三郎」作品写真集(美術班OB編) ￥10,000
8. 「上田高校野球部史」(野球部後援会編) ￥1,000
9. さようなら「別所線丸窓電車」 ￥3,200
10. ブロンズ「ミニ校歌碑」 ￥2,500
(47期卒業30周年記念作品)

同窓会の会員名簿は十年毎に更新される。前回は一九八〇年版で今回一九九〇年版を来年四月出版の予定で、事務局では編集に着手した。マンモス校になったため、この十年で四千名増えて計二万六千余名になる見込みである。

若手と60歳の定年を越えた会員の職業・住所の変更は多い数で、この十年で三分の一の方々に何等かの変更があり、尚七八%の居所不明者があって困惑している。

名簿内容の正確を期したいので、同封の「名簿資料返信」ハガ



針。更に入念な校正をお願いする方

キ)を必ずご返信願いたい。若し返信無い場合は、誤記のままあと十年継続の恐れがある。名簿資料はすべてコンピュータに打込み、卒業期別の冊子を作り、地元代議員に依頼して

新「会員名簿」発刊!

正確な資料にご協力を

ご寄贈冊子(事務局)

第二十六期生文集

齢八十に近く、卒業六十周年を記念して刊行された驚異的な大作。三部作で総頁数千四百頁写真百頁。(編集)長尾秀次氏

創部四十周年記念誌。二四〇名のOBによる汗・涙・躍動・栄光の青春賛歌史。

「続「彷徨」 小林俊直著

長野中学時代より上田高校校長時代まで、六十余年間の様々な人との出会い想い出を綴った来し方の身辺雑記。

「松風」高柳厚追悼集

先輩・同輩・教え子そして近親者など、三十余名による「高柳先生の思い出文集」。

「シュプール」

上田スキースポーツ少年団の十周年。成長発展のあゆみ。

編集後記

平成を迎えて、同窓会報も初めて表裏の二頁が色刷りに。この会報も発行の度に、良い紙面作りを心掛けての構成替えも、未だ発展途上の紙面。(佐)

同窓会報編集委員

水野 春海 佐藤孝太郎
横山 二男 青島二郎
田中 栄二 田辺昭夫
龍野 彰宏 西沢文登
増田 幸一 渡辺規夫
小林 光夫 土屋陽一

豊かな自然に抱かれた

信州がふるさとです。



信州ハム

代表取締役社長 久保 忠夫(44-4期)

本社 上田市天神 2丁目3番13号 TEL22-8686(代)

